

1 教科・題材名 総合的な学習の時間 「かるたを作ろう大作戦」

2 本時までのいきさつ

4年生までの子ども達は、地域を題材に学ぶ機会が多かった。霧訪山に登ったり、強清水でかき氷を作ったりするなど、自分たちの願いから学習を立ち上げてきた。それは10年前に作られた「東っ子かるた」がきっかけだった。



5年生では、地域の事を知りたい・地域を調査したいという願いから、「東っ子かるたをリニューアルしたい」という思いが生まれ、東っ子かるた第弐弾を作ろうと決めた。今ある東っ子かるたが地域の何処かを分類する活動では、かるたに取り上げられた場所を地図で探したり、その場所がかるた札の画像とネットに載せてあることを知ったりした。子どもたちは、東地区の良さを感じながら、東っ子かるたをリニューアルしたら全校に遊んでほしいという願いや、新しいかるた札を作って地域に立てたいという思いをもった。

1学期は、一人一人が何をかるたに取り上げたいのか考え、発表・話し合いを行った。その中で一人一人のおすすめポイントが重なったり、違ったりすることに気づき、全校の意見をアンケートで集める活動が立ち上がった。

本時は、子どもたちのおすすめポイントが多く重なった霧訪山の読み札を決める。景色の素晴らしさ、頂上の鐘の音、登山の苦勞など、子ども達の思いは様々であり、その思いをどう融合させるかが見どころとなる。その後は、子どもの意識を大切にしながら、今のかるたを制作した人に話を聞いたり、全校・家族・地域の方々の思いに触れたりする活動を進めていきたい。

3 研究会の学び

(1) 7月授業の子ども姿

かるたの“オスポイ”は子どもと関わりのある事象が100%

子どもがかるたにしたいおススメポイントを3つ選択した。内容をみると、全部が子どもと関りがある事象だった。例えば、塩尻東地区に地域の名所は多々あるが、子どもが選択したものは、自分が行ったり知っていたりする場所だった。そして、子どもなりの思いがあることも見えてきた。

おすすめポイントのアンケートを全校にとりたいと思いつき、全体へ提案したA児

かるたづくりをしたい A児は、何をかるた札に入れようか迷っていた。友達とあれこれ考えているうちに、「他の学年にも入れたいものがある」と気づく。友達が「みんなで教えてって聞きに行く？」と提案した時、A児は「う〜ん。タブレットでアンケートとればいいんじゃない？」と言っていた。仲間に賛同されると、担任へ相談に行き、発案の良さを認められると学級全体へ提案する姿があった。



A児は4年時に全校発表をする機会があり、感想をアンケートで集約した経験がある。それが生きていたのではないか。また、子ども達は他の学年には自分達とは違うオスポイがあることを、当たり前のことと受け止めて考えている。これは入学前からの集団生活で他のクラスの活動や思いを知る経験があるからだと思う。人の思いを感じる育ちが、東地区にあるからこそその姿だと考える。

(2) 渡澤先生の姿に学ぶ ~子どもの育ちへ目を向け、子どもの意識で授業をつくる~

別紙参照

.....授業で見ていただきたい点.....

◇ 霧訪山登山の経験・体験から、読み札づくりで思いを込める子どもの姿

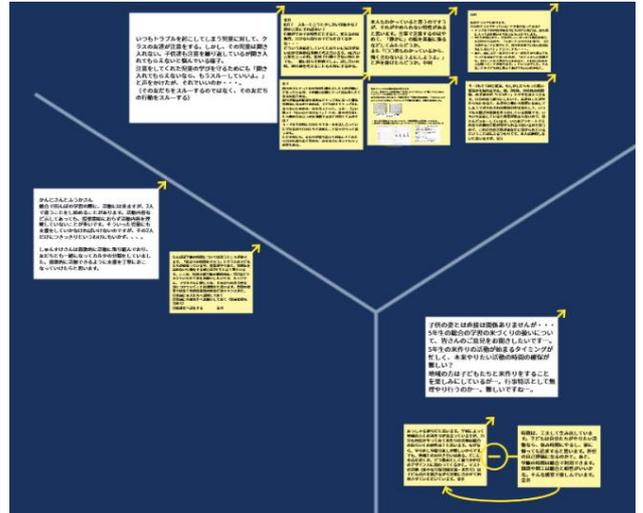
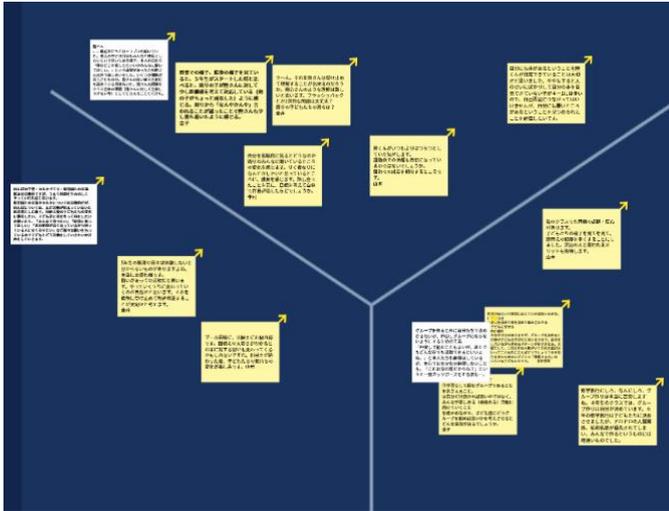
5年生から担任の渡澤先生は、4年生まで子どもがどんな活動や学びをしてきたのか耳を傾けてきた。授業では子どもが自然体で学びたいことを発言し、活動を提案する。子どもの意識が自然な流れの中で授業がつくられている。

・ 日々の悩みを発信する力（資料）

日々の悩みを研究メンバーで共有してほしいと依頼すると快く受けてくれた。授業の悩み、生徒指導対応の迷いがタブレット上で発信され、アイデアや意見をコメントしながら共有してきた。授業学級の実態を知ることができ、お互いのコメントから学んだり、自分を見つめたりすることにつながった。

資料 ◆渡澤先生の事例、悩み、等々を部会全体で共有する試みを試してきた

ねらい→渡澤先生発信の事例で学ぶ。自分ならどうするか（根拠も）入力より。



身近な事象に積極的に関わる中で、物性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら自分の考えをより良いものにするようにする。

資料

渡澤先生の姿

～子どもの育ちへ目を向け、子どもの意識で授業をつくる～

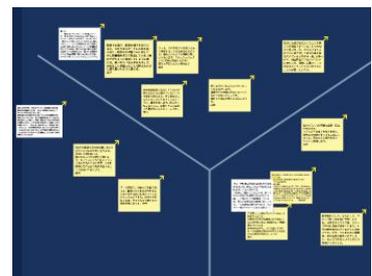
5年生から担任の渡澤先生は、4年生まで子どもがどんな活動や学びをしてきたのか耳を傾けてきた。授業では子どもが自然体で学びたいことを発言し、活動を提案する。子どもの意識が自然な流れの中で授業がつけられている。



研究部会での取り組み

◎日々の悩みを発信 ⇒ 共有へ

日々の悩みを研究メンバーで共有することを快く受けてくれた。授業の悩み、生徒指導対応の迷いがタブレット上で発信され、アイデアや意見をコメントしながら共有してきた。授業学級の実態を知ることができ、お互いのコメントから学んだり、自分を見つめたりすることにつながった。渡澤先生だけでなく、経験豊かな職員も貴重な学びの機会となった



ロイロノート（共有ノート）

## 渡澤先生発信 1

### ☒ グループづくりについて

グループを作るときに自分たちで決めさせたいが、仲良しグループにならないようにするための工夫を知りたい。「仲良しで組むこともよいが、誰とでもどんな班でも活動できるといいよね。」と本人たちも納得はしているが、本心ではなかなか納得しないことも。「これは仮の班だからね?」というと一度ガッツポーズをする姿も…。

A 先生	修学旅行にしろ、なんにしろ、グループ作りは本当に苦勞しますね。4年生のクラスでは、グループ作りは自分が決めています。6年の修学旅行は子どもたちに決めさせましたが、ドロドロの人間関係、私利私欲が優先されてしまい、みんなで作るというものには程遠いものでした。
B 先生	子どもとの共通認識として ①学習として組むグループであることをおさえること。 ②自分だけ良ければ良いのではなく、みんなが楽しめる(頑張れる)活動に向けていくことを確かめながら、子ども達にどうグループを組めば良いかを考えさせるとどんな意見が出るでしょうか。
C 先生	担任のねらいで状況に応じていけば良いのかな。 ①くじ引き ②班長を決めて係を決めて組み合わせる ③子どもに任せる ④AIに頼む 色々なやり方はありますが、グループを決めること自体が子どもの学びだと思しますので、意見を出し合いながら進めるパターンが好きかなあ。大前提として、これだけの人数がいて全員大満足は無いつてことは先に言えばどうでしょう? 幸せな人生を歩むためのエビデンス「我慢する力」は知っている子どもたちです。
D 先生	私のクラスでも同様の課題・反応があります。 子どもたちの様子を見てを見て、班替えの頻度を多くすることにしました。沢山の人と関われるメリットも期待します。

## 渡澤先生発信 2

### ☒ 活動の計画について

田んぼの学習・カルタづくり・保育園との交流 怒涛の活動量ですが、うまく時間を生み出してやっていければと思います。保育園との交流やカルタについては意欲的だが、田んぼについては、まだ活動が始まっていないため漠然とした様子。田植え後の子どもたちの変化に期待したい。子ども達に米を作って何をしたいか聞いたら、「みんなで食べたい」「給食に使ってほしい」「米の値段が高くなっているから困っている人に安く売りたい」など様々な願いをもっているので子どもとどう活動をしていきたいか計画をしていきます。



A 先生	5年生の怒涛の日々は体験しないと分からないものがありますよね。本当にお疲れ様です。願いがあつての活動だと思えます。やっていくうちに変わっていくのが自然だと思えます。それを柔軟に受け止めて軌道修正することが大切かと考えます。
B 先生	プール掃除に、田植えにお疲れ様です。田植えの大変さがわかるとお米に対する思いも変わってくるかもしれないですね。田植えが終わった後、子どもたちの気持ちの変化が楽しみです。

## 渡澤先生発信 3

### ☒ 子どもトラブルについて

最近、A君は、友だちとのトラブルが続いていた。本人の中には自分もみんなと仲良くしたいという思いもある様子。本人から「僕のどこを直したらいいかみんなに聞いてほしい。」という要望があつたため本人以外で話し合

いをした。いくつか課題が出てきたものの、A さんの良い面での変化を認めている児童もいた。A さんの課題をクラス全体の課題(A さんに対して注意しすぎない等)としてとらえることもできた。

A 先生	授業での様子、給食の様子を見ていると、5年生がスタートした時と比べると、周りの子が A さんに対して少し距離感を考えて対応している(他の子がちょっと成長した)ように感じる。周りから「なんやかんや」言われることが減ったことで少し落ち着いたように感じる。
B 先生	A くんがいつもよりはつらつとしていた気がします。運動会での活躍も自信になっているのではないのでしょうか。臨海での成長を期待するところです。
C 先生	自分を客観的に見るとどうなのか周りのみんなに聞いているところの変化を感じます。A 君なりになんとかしたいと思っているところに、成長を感じます。話し合ったことを元に、目標を考えて自分で毎日評価したらどでしょうか。
D 先生	う〜ん。それを A さんは受け止めて理解することが出来るのだろうか。B さんのような理解は難しいと思います。フラッシュバックとか 2 次的な問題は大丈夫? 周りの子どもたちの育ちは?
E 先生	自分にも非があるということ A くんが自覚できていることは大切だと思いました。ややもすると人のせいばかりして自分の非を自覚できていない子がうちのクラスには多いので、自己否定につながってはいいませんが、自分にも悪いところがあるということを見つめられたことを評価したいです。

部会では共有ノートでの個々の発信を受けつつ、授業づくりの検討をしてきた。渡澤先生の悩みを共有することで部会メンバー一人一人の引き出しの数や子どもの見方の数が増えた印象がある。

### 本時案

#### (1) 本時の主眼

霧訪山の読み札を作り始めた子どもたちが、読み札について話し合う場面で、テーマごとに自分の体験や思いを伝え合ったり、こだわり言葉を使って修正するために話し合ったりすることを通して、霧訪山の読み札に自分たちの思いを込めることができる。

#### (2) 展開

学習活動	子どもの反応	・支援 「発問」	時間
① 前時の振り返り	・霧訪山読み札がたくさん出たよね。 ・景色は同じような読み札があったね。 ・似たものをグループにしたね。	「霧訪山の読み札覚えてる？」 ・霧訪山の全部の読み札を掲示する。 「今日は○枚の読み札をどうしていく？」	5
② 学習問題を決める	【学習問題】霧訪山の良さが伝わるこだわりの読み札の完成を目指そう。 ・4つのグループ(景色)(動植物)(鐘)(登山)に分けたね。	「どんなグループに分けたっけ？」 「作っていくときにどんなことを大切にしたい？」	
③ 学習課題を決める	【学習課題】相手が納得できるような自分の理由を伝えよう 読み札のいいところを合わせよう 良さが伝わるこだわり言葉を使おう ・霧訪山の良さが伝わる読み札を作りたいな。	・霧訪山を選んだ理由をまとめた模造紙を掲示しておく。	

<p>④ テーマ毎に読み札をつくる</p>	<p>・自分の意見も友達の見聞も大切にしたいな。</p> <table border="1" data-bbox="272 174 863 763"> <tr> <td data-bbox="272 174 328 320">動植物</td> <td data-bbox="328 174 863 320"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オキナグサを守ることを伝えたい。頂上に絶滅危惧種があるってすごい。</li> <li>・カモシカみたかったなあ。</li> <li>・「守る」とか「大切」とか入れたいね。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 320 328 439">景色</td> <td data-bbox="328 320 863 439"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見渡す」とか「雪山」を入れたい。景色は360°ビューだし冬山No.1じゃん。</li> <li>・山頂からの景色を伝えたいよね。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 439 328 584">鐘</td> <td data-bbox="328 439 863 584"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鐘の響きが長いことや夢が叶う事が伝わるといいな。</li> <li>・「夢」って言葉が全部の読み札に入ってるね。絶対に入れよう！</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 584 328 775">登山</td> <td data-bbox="328 584 863 775"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霧訪山って登るからいいよね。</li> <li>・友達と登って励まし合ったからいいんだよ。おやつがあって元気になった。</li> <li>・「雪山」って景色とかぶっているけれど、どうする？</li> </ul> </td> </tr> </table>	動植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オキナグサを守ることを伝えたい。頂上に絶滅危惧種があるってすごい。</li> <li>・カモシカみたかったなあ。</li> <li>・「守る」とか「大切」とか入れたいね。</li> </ul>	景色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見渡す」とか「雪山」を入れたい。景色は360°ビューだし冬山No.1じゃん。</li> <li>・山頂からの景色を伝えたいよね。</li> </ul>	鐘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鐘の響きが長いことや夢が叶う事が伝わるといいな。</li> <li>・「夢」って言葉が全部の読み札に入ってるね。絶対に入れよう！</li> </ul>	登山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霧訪山って登るからいいよね。</li> <li>・友達と登って励まし合ったからいいんだよ。おやつがあって元気になった。</li> <li>・「雪山」って景色とかぶっているけれど、どうする？</li> </ul>	<p>「グループごとにより良い読み札になるように話し合ってみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を意識した話し合いができるように以下の支援をする。</li> <li>・最初の文字が他のグループや既に完成している読み札とかぶった場合は違う言い方ができないか調べたり話し合あったりするよう声がけする。</li> <li>・子どもが理由を話している時は、うなずくなどして共感する姿勢で関わる。</li> <li>・話し合いが進んでいるグループには、発表の際に自分たちのこだわりが伝えられるよう工夫したところをまとめるなどの声がけする。</li> <li>・話し合いが停滞しているグループには、思いや体験をタブレットの写真を見て思い出せるように声がけする。</li> </ul>	<p>25</p>
動植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オキナグサを守ることを伝えたい。頂上に絶滅危惧種があるってすごい。</li> <li>・カモシカみたかったなあ。</li> <li>・「守る」とか「大切」とか入れたいね。</li> </ul>										
景色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見渡す」とか「雪山」を入れたい。景色は360°ビューだし冬山No.1じゃん。</li> <li>・山頂からの景色を伝えたいよね。</li> </ul>										
鐘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鐘の響きが長いことや夢が叶う事が伝わるといいな。</li> <li>・「夢」って言葉が全部の読み札に入ってるね。絶対に入れよう！</li> </ul>										
登山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霧訪山って登るからいいよね。</li> <li>・友達と登って励まし合ったからいいんだよ。おやつがあって元気になった。</li> <li>・「雪山」って景色とかぶっているけれど、どうする？</li> </ul>										
<p>⑤ 全員で読み札を共有する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・俺たちの思いは伝わるかなあ。</li> <li>・景色の読み札は山頂からの様子が伝わるね。</li> <li>・鐘の読み札は鐘の音色が伝わってくる感じがしてすごくよかった。</li> <li>・A君とBさんの読み札のいいところが合わさった感じがしてすごい。</li> </ul>	<p>「グループの読み札を全体に発表しよう。そうなった理由も発表しよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決まらなかったチームは皆からアドバイスをもらうことができるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="887 965 1422 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】霧訪山の読み札に自分たちの思いを込めることができたか。</p> </div>	<p>10</p>								
<p>⑥ 振り返り学習カード記入</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これなら霧訪山の良さが伝わると思うよ。</li> <li>・「夢叶う」って鐘のことがよく分かっていいって思った。</li> <li>・次は学校行事の読み札を決めていきたいな。</li> <li>・他の学年のオスポイも早く知りたいな。カルタをつくってみんなに取ってほしい。</li> </ul>	<p>「霧訪山の読み札はより良くなった？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何が良くなったか、具体的に気づきを共有できるようにする。</li> <li>・担任も子どもと一緒に良かったところの共有する。</li> </ul> <p>「次はどこの読み札を決めていこうか。」</p>	<p>5</p>								